

提出年月日: 令和元年 10 月 2 日

提案団体名: 株式会社ティアフォー

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)~(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<p>ティアフォーは、自動運転システムである「Autoware」の開発や、自動運転EVの提供、サービス提供支援を通じて、スマートシティの構築に貢献します。</p> <p>「Autoware」は、ティアフォーが設立を主導した国際的な業界団体である「The Autoware Foundation」に参加するシリコンバレーやロンドンの戦略的パートナーと共同で開発を進めており、既に国内外200社以上で採用されています。</p> <p>日本でも、これまで公道を含め、多数の実証実験を実施してきました。</p>	(6)

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
 ※課題については、別紙の(ア)~(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>自動運転は新たなモビリティサービスとして、人口減少等に伴う地域の公共交通等の課題を解決して、持続可能なものとすることに貢献します。また、高齢者が増加する中で、自動運転は、高齢者の外出を支援する手段の一つとなります。</p>	ア
<p>国内外からの観光客の多様化する移動ニーズに対応するとともに、地域への新たな旅行者の誘致につなげていきます。</p> <p>また、自動運転やMaaSなどの新たなモビリティサービスを通じて、地域経済の活性化にも貢献していきます。</p>	オ
<p>十分な移動手段を持たない高齢者による買物や病院、介護施設などへの外出を、自動運転を通じて支援することで、健康寿命延伸や介護予防に貢献します。</p>	カ
<p>物流現場での人手不足に対応するため、自動運転を通じた物流の生産性向上に貢献します。</p>	コ

(3) その他

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
事業本部	岡崎慎一郎	03-5615-8898/070-7594-7954	shinichiro.okazaki@tier4.jp